

Learning by Doing

先駆者から学び、挑戦して学び、経験から学ぶ
そして、次の新しい先駆者が生まれる

Learning by Doer, Learning by Doing, Learning by Did(Experiences).

デジタルとリアルが融合した地球規模の実践型の学び

Inspire/Input
(無関心から解放)

Activity/Output
(好奇心から実践)

Reflection
(実践から振り返り)



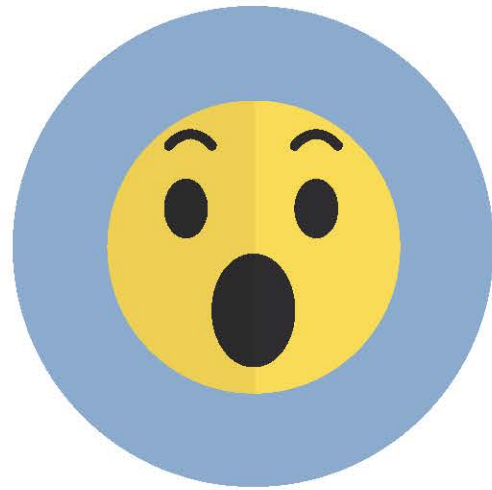
全ての人に届けたいこと

Management Strategy



Actualization

自分のやりたいをカタチに変えて、具現化する力



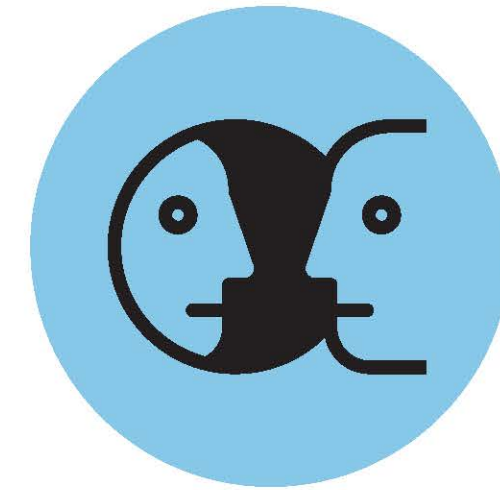
常識を覆す

今まで生きてきた世界で自分の当たり前が構築されている、前提が変わるようなモノと衝突する機会を作る。



心のままに挑む

好奇心を大切に、少しでも興味関心が湧いたら、一步を踏み出して、経験することを大切にする。



自身を振り返る

義務教育課程で内省機会が少ない。自分のやりたいことや得意なことや好きなことは何かを問う。



CASE STUDY

SDGs school・クラーク記念国際高校での取り組み

ARの活用・自分達の消費の背景を遡り、今までの行動を見つめ直し、世界の捉え方の変容を通じて行動変容を起こすプログラム。

<目的>

SDGsが広く知れ渡ってきたが、根本的な解決策を講じるのではなく、ファッションとして消費してしまっている傾向がある。自分と世界とのつながりをチョコレートやコーヒーを通じて体感すると同時に、自分の行動を今一度見つめ直す。

<プログラム設計のこだわり>

オックスフォード大学院博士とともにプログラム実施：
SDGsの最前線で国際機関で勤務している方を講師に招聘

サプライチェーンを遡る：

観光気分ではなく、チョコレートであれば、カカオの生産背景、生産されている方の生活、その方々の想い、未来についてお話を伺い、自分達が消費をしている背景を徹底的に掘り下げます。実際にコーヒー豆を輸入するなど通じて社会貢献をします。

テクノロジーの活用：

ARや3Dプリンタなどを活用して、実際に現地にあるものを日本の身の回りのものと比較したり、自分達が考えたものを3Dプリンタを通じて、現地で形にして、実装することに挑戦したりします。

